

Johas 北海道せき損センター

せき損センターニュース

基本理念

良質で安全な医療
信頼される医療
心の通う医療

基本方針

- ・北海道のせき損医療を守り最先端のせき損医療を行います
- ・診療科を充実させ地域医療に貢献します
- ・病院の持続的発展のため経営基盤を確立します

当院では、整形外科を始め、内科、循環器内科、外科、形成外科、泌尿器科、リハ科、歯科、脳神経外科(院内標傍)、皮膚科(院内標傍)、せき損内科(院内標傍)の一般診療を行っています。

第13回せき損シンポジウムを開催しました

令和 8 年 1 月 24 日(土)、当院で「第13回せき損シンポジウム」を開催しました。北海道唯一のせき損治療専門機関として、せき損治療の医療に関する情報を広く発信し、医療関係者のみならずせき損患者とともに生きる患者さんへの道標となるべく、これまでシンポジウムの開催を続けてまいりました。

今回は「自分らしく人生を歩むために——新しい心と体で脊髄損傷とともに生きる——」というテーマで病院内で開催しました。当院職員が演者となり、脊髄損傷の基本的知識から日々行なっている治療の内容など、専門職がそれぞれの立場で患者さんが人生を歩まれるための一



助になるような話をお伝えしました。

副院長坂井医師からは国内での脊髄損傷の現状を、整形外科部長小松医師からは脊髄損傷の急性期治療について、副院長松本医師からは脊髄損傷のリハビリテーションについて、脊髄損傷治療の最先端と未来を見据えた取り組みについて具体例を示してご紹介しました。続いて看護部、中央リハビリテーション部から4題の演題発表がありました。

会場には40名近くの患者さんとそのご家族に参加いただきました。また、九州の総合脊髄センター、東京の村山医療センターの医師、看護師、リハビリ等のスタッフも参加されました。約3時間に及ぶ長丁場でしたのでお疲れになった患者さんもお疲れになりましたが、演者の話に頷かれたり、時に笑顔が見られたりする様子を見聞きし、皆さまの心に私たちのせき損への情熱をお伝えすることができたのではないかと感じております。

私たちはこれからも、脊髄

損傷医療の発展と患者さん皆さんの明るい未来のため、熱意と愛情あふれる医療を提供してまいります。地域の皆さまにおかれましては、日々頑張っている患者さんたちに熱いエールをおくっていただけますと、どうぞよろしくお願い申し上げます。

明日はきつと変えられる。私たちはそう信じています。

「排尿自立が困難とされる頸髄損傷患者に対する援助の実際」

看護師 仲俣 愛

頸髄損傷では、脳と膀胱をつなぐ神経が障害されることで、尿意がわからなくなる、意図せず尿が漏れる、尿が出にくなどの排尿障害が生じます。放置すると尿路感染や腎機能の悪化など重い合併症につながるため、適切な排尿管理が重要です。



今回の発表では、当院で行っている排尿評価と管理の流れをわかりやすく示しました。また、トイレで排尿したいという患者さんの希望を叶えるために、看護師が多職種に働きかけチームで患者さんを支え、最終的にトイレで排尿できるようになるまでの看護支援の実際を紹介しました。

「脊髄損傷の患者さんを支えるチームケア 褥瘡の予防から回復まで」
看護師 金野 摩郁

当センターでは、褥瘡の予防と発生後の早期回復を目指し、医師、看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士など多職種が連携して包括的に対応しています。予防対策を実施していたにもかかわらず褥瘡が発生した事例を通して、当センターでの



褥瘡ケアの取り組みを発表しました。脊髄損傷患者さんの日々の皮膚観察の重要性や、異常を認めた際には早期受診につなげることの大切さを改めて発信しました。

フロアから「今回の事例で看護を行ううえで大切だったことは何か」と質問があり、「患者さん自身に褥瘡ケアの必要性を理解してもらおうよう指導した」と回答しました。

今後も、患者さん・ご家族に寄り添い、その想いに応える看護を目指して取り組んでいきます。

「広がる生活の原点 移乗の大切さ」
理学療法士 桜井 彩人

今回のセミナーでは「移乗の大切さ」について発表させていただきました。

移乗とは、ベットから車椅



子・トイレや車へなど乗り移る動作です。この単純な動作の大切さ、それはこの移乗動作こそ退院先を決めて、新たな生活を作っていくための基礎であるからです。

その移乗方法として側方・前方・立ち上がり移乗の3つを紹介し、獲得のためには日々同じリハビリを何回も何回も繰り返し行うことが大切であることを伝えました。そのリハビリの成果が自身の生活の質や自由度を高め、自宅退院や復職など生活の幅を広げることにつながっているとしたいと思います。

「移乗の大切さ」が伝わり、日々のリハビリをもう一踏ん張り頑張ろうと思ってくただけから幸いです。

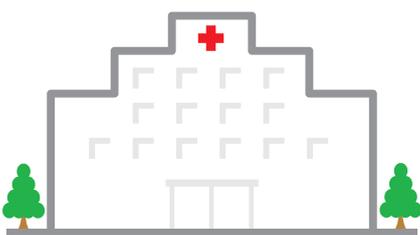
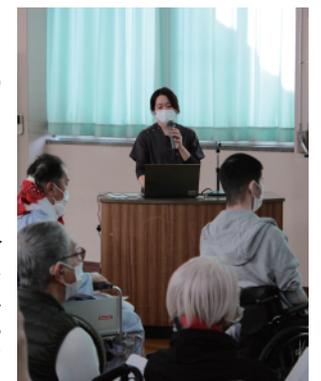
「ひとりひとりが選ぶゴール 新たな一歩を踏み出すために」
作業療法士 菊地 咲輝

私は「『自律』した生活」をテーマに退院後の患者さんの生活について話しました。

大きな目標に向かいコツコツと小さな目標をこなしていくこと、たとえ今の身体状態で困難

でもどのように自分をサポートしてもらおうか考えることが大切です。リハビリの中で一緒に目標を設定することもできます。いつでもセラピストに相談してみてください。

セミナー終了後は、入院中の患者さんから「目標を持つことの大事さがわかった」「こつこつできることから頑張っていく」と思った」など、前向きな言葉が聞かれました。作業療法士としてこれからは自律した生活をサポートしていきたいと改めて感じました。



フィギュアの日記

先月、当院西1病棟の裏でフィギュアスケートをさせて頂きました。

まず、普段スケートと医療を混合させることは難しいので、それを現実できたことはとても嬉しかったです。スケートを病院の皆様と共有できたことは非常に光栄でした。当院の廊下を歩いていると、古き良き屋内の雰囲気から「ムーン・リバー」が連想され、選曲させて頂きました。屋外で演技をするのは初めてでしたので、青空の下、氷の上、非現実的でとても感動しました。

そして氷上から西1病棟を眺めると、日々尽力されているスタッフの方々や患者さんが、一緒に笑顔になっている姿が見えました。

また、おそらくスケートを見ることができなかった4・5階の皆様からも、氷上まで届く力強いエネルギーを与えてくれました。建物の人々全員が同時に同じ世界に没入している様な、言葉で表現し難いパワーを感じました。

整形外科 佐藤 菜乃初

この度、当院でのスケートエキシビジョンという非常に貴重な時間を実現して下さいありがとうございます。須田院長をはじめ総務の方々、リンク作成に関わった先生方、看護師やスタッフの皆様の力が無ければ実現できなかったと思います。本当にありがとうございます。

患者様や当院に携わっているスタッフの皆様にとって、病院生活という日々の中でも、少しでも記憶に残る幸せな思い出ができたことを祈っています。



防火避難訓練を実施しました

去る令和7年11月27日（木）に院内において防火避難訓練を実施いたしました。

今回の訓練は、東4階病棟ナースステーション内で夜間（午後10時）に出火したことを想定し、消防火法等で定められている「夜間マニュアル」に沿って実際の勤務体制に則した訓練を行いました。

夜間帯の人員配置に基づいて患者さんの「避難誘導活動」、緊急連絡用電話を使用した消火警署への「通報連絡」、屋内消火栓等を使用した（模擬）「消火活動」及び防火扉を閉鎖する「防災活動」等の総合訓練を行いました。避難誘導の際には歩けない患者さんの移動方法として



て、担架やベッド、車いすなどを用いて実際の火災を想定した訓練を実施しました。

訓練には、病院職員をはじめ事務当直・守衛の方々など約30名が参加しました。訓練終了後、美唄市消防隊より全体の総括が行われ、今回の訓練の反省点や意見等が出され、防火避難の意識をより高める機会になったと思います。多くの患者さんを抱える病院としては、「火災」を発生させない事が第一でありますが、万が一火災が発生した場合を想定し、今後も継続的に訓練を実施し、患者様の安心安全を確保していきたいと考えております。



北海道せき損センター 外来診療体制のご案内

※令和8年3月1日現在

診療		月	火	水	木	金	備 考	
整形外科 リハ科 脊椎・脊損 四肢・関節	午前	須田	須田	坂井 (第2・4)	坂井	松本	<ul style="list-style-type: none"> リハ科の診療は、整形外科外来で行います。 午前の受付は、11:00までです。 午後の受付は、13:30～15:00までです。 午後は予約、新患受付のみですが、救急、ケガ、症状が強い場合は17:00まで対応しています。 	
		竹内	東條	松本	東條	小松		
		深田	小松	東條	深田	岡田		
		三浪	三浪	白井 (第1・3・5)	岡田	櫻庭 (出張医)		
	午後			角家 (出張医)				
		深田	小松	角家 (出張医)	竹内	櫻庭 (出張医)		
内科 リウマチ	午前		竹田			宮本	<ul style="list-style-type: none"> 特殊外来 糖尿病外来：木曜日午前（予約制） リウマチ外来：火曜日、金曜日午前（予約制） 第2・4火曜日は午前のみです。 1階整形外科奥の内科診察室で行います。 血液内科：水曜日午前 呼吸器外来：第2・4水曜日午前 禁煙外来：木曜日午後 午前の受付は11:30まで、午後の受付は15:00までです。 ※豊嶋医師は、北海道大学教授（血液内科）です。 ※二川原医師は、岩見沢北翔会病院医師（呼吸器内科）です。 	
	午後		竹田					
内科 一般 消化器 血液 糖尿病 呼吸器	午前	室谷	中野	室谷	中野	中野	<ul style="list-style-type: none"> 血液内科：水曜日午前 呼吸器外来：第2・4水曜日午前 禁煙外来：木曜日午後 午前の受付は11:30まで、午後の受付は15:00までです。 ※豊嶋医師は、北海道大学教授（血液内科）です。 ※二川原医師は、岩見沢北翔会病院医師（呼吸器内科）です。 	
				てしま 豊嶋 (北大教授)	種田 (糖尿病)			
	午後			二川原 (呼吸器) (第2・4)				
		室谷	中野	室谷	室谷	中野		
内視鏡	午前				室谷		<ul style="list-style-type: none"> 予約制です。 	
	午後	齋藤 (肩カメラ)	室谷		中村 (大腸カメラ) (第1・3・5)			
循環器内科	午前	高木	佐藤	高木	縣	高木	<ul style="list-style-type: none"> 午前の受付は11:00まで、午後の受付は15:00までです。 火・水・木曜日の午後は予約の方のみです。 予約診療も行っております。担当医師にご相談下さい。 	
	午後	高木	佐藤	高木	縣	高木		
外科	午前	予約制	(手術日)	本吉		齋藤	<ul style="list-style-type: none"> 特殊外来 血管外来：毎週月曜日午前 乳がん検診：毎週水曜日午後（予約制） Aコース（問診・マンモグラフィ撮影） Bコース（問診・マンモグラフィ撮影・超音波検査） ※触診のないコースもあります。 ストーマ外来：第2金曜日午後（予約制） PEG外来：第3金曜日午後（予約制） 午前の受付は11:30まで、午後の受付は15:00までです。 	
	午後	松井 (血管)	(手術日)	齋藤 本吉 乳腺外来	(手術・ 検査日)	特殊外来 ※		
泌尿器科	午前		森田		高松	森田	<ul style="list-style-type: none"> 午前の受付11:00まで、午後の受付は14:30までです。 (但し、毎月第1金曜日の午後は14:00までです。) 	
			菅野 (隔週)					
	午後		森田		高松	森田		
皮膚科	午前	出張医				出張医	<ul style="list-style-type: none"> 午前の受付は11:00まで、午後の受付は14:30までです。 	
	午後	出張医				出張医		
形成外科	午前		出張医				<ul style="list-style-type: none"> 午前の受付は11:00まで、午後の受付は15:00までです。 	
	午後		出張医					
脳神経外科	午前					出張医 (第2・4)	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第2・第4金曜日の診察となります。 内科外来にて行います。 	
歯科	午前	庵	庵		庵		<ul style="list-style-type: none"> 午前の受付は、11:00までです。（予約制です） 午後の受付は、15:00までです。（予約制です） 	
	午後	庵	庵		庵			
※受付時間 午前 8:15～11:00 整形外科・循環器内科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・歯科 8:15～11:30 内科・外科・脳神経外科（自動再来受付機では、8:15より受付できます。） 午後13:00～14:30 泌尿器科・皮膚科 13:00～15:00 内科・循環器内科・形成外科・外科・歯科 13:30～15:00 整形外科 ※医師の学会出席等により、診療日が変更になることがあります。予めご了承下さい。								

(注) 掲載の診療科目には一部院内標榜科目を含みます。